



## 記念事業

### 1 テーマ毎の事業成果

記念事業については、実施方針として定めた5つのテーマに沿った事業の成果を得ることを目標に実施して参りました。また、これからのいわきのまちづくりの基本的考え方である「共創のまちづくり」の視点に立ち、市民の皆様をはじめ、企業や地域の各種団体等、様々な方々と事業を展開してきたところです。

各テーマにおいて、それぞれ次のような成果に結びついたものと考えます。

#### 絆・交流：市民をはじめ様々な主体が連携し、交流を深め、人と人の絆を強める。

「絆・交流」は、文化・芸術・スポーツなどを通じて、様々な方々の交流や触れ合いの機会を創出し、市民一人ひとりの心に更なる勇気や元気を宿すことなどを目標としたものです。

文化・芸術面では、いわき芸術文化交流館や市立美術館における企画事業をはじめ、「いわき市民文化（春）祭」等を、また、スポーツ面においては「いわきサンシャインマラソン」を記念事業として趣向を凝らして開催しました。特に、いわきサンシャインマラソンにおいては、多くの市民ボランティアスタッフや沿道の方々が、9,300人を超えるランナーをおもてなしの心で応援し、交流を深めました。

また、「中核市サミット 2016inいわき」の開催や「国内外都市間交流促進事業」の実施などを通じて、市外関係者との更なる繋がり強化が図られました。

このほか、市の将来像やその実現に向けた取り組み等について思いを巡らせ、自由な発想で提案して頂いた「市民プレゼン大会『いわき‘夢プラン’コンテスト』」等の開催を通して、市民をはじめ様々な方々がその絆をさらに強くすることができたものと考えます。

#### まち力向上：地域の特色・歴史や文化を生かしながら、まちのちからをさらに高める。

「まち力向上」は、これまでに築かれてきた産業の蓄積や市内それぞれの地域が持つ多様な資源を再確認するとともに、地域の活性化を図り、活力と創造力あふれるまちへと向かう契機とすることなどを目標としたものです。

記念事業の中核として位置づけた「いわきサンシャイン博」や「小名浜『胃・飾・縦』プロジェクト」などにおいて、各地域の特色や歴史、文化等を生かしながら賑わいを創出する施策等を実施したほか、「いわき花火大会」や「いわきまつり」などの既存のイベントにおいても、50周年を記念した特別な取り組みを実施し、参加者が本市の更なる発展に向けた想いを共有しました。これらの取り組みが、更なる交流人口の拡大や魅力あふれる地域づくりに繋がるものと考えます。

また、このほかに、商工業の活力創出に向けた「いわきバッテリーバレーフェスタ 2016」の開催や農林水産物の活性化を目的とした「ふりかけグランプリ@inいわき 2016」の実施など、既存の地域産業の強化や新たな産業創出の契機となる取り組みを実行しました。

## 郷土愛：郷土・故郷への誇りと愛着心を高め、その思いを未来へ引き継ぐ。

「郷土愛」は、本市が積み重ねてきた歴史や先人たちの業績などを見つめ直し、あらためて、ふるさといわきへの誇りや愛する心を高めるとともに、未来を担う後進に継承していくことなどを目標としたものです。

「50周年記念誌の編集・発行」や「50周年映像記録の制作・配信」、「“いわきの今昔”地域画像等の収集・保存事業」といった市の軌跡を継承する事業を実施したほか、歴史冊子の作成・配布や地域学の講座を開講する「伝えたい誇れるいわき醸成事業」、郷土史への理解を深めることを目的とした「いわきの歴史展」、そして郷土愛の醸成や地域への誇りを喚起する「磐城平城復元『一夜城』プロジェクト」等、いわきの歴史・文化・伝統等を受け継ぐ取り組みを多数実施しました。

また、市とともに発足50周年を迎えた市議会においては、「いわき市議会発足50周年記念誌の発行」や「議会報『ほうれんそう』議会発足50周年記念特別号の発行」によって、今後さらに市議会活動への理解や関心が深まっていくものと考えます。

このほか、「いわき市歌普及事業」や「原動機付自動車等のオリジナルナンバープレート作成交付事業」のように、いわきへの愛着を生み出す事業にも取り組みました。

こうした取り組みが、市民の皆様の心の中に、ふるさといわきに対する誇りや愛着が育まれる大きな契機になったものと考えます。

## 未来・夢・希望：次世代を担う子どもたちの夢や希望を育む。

「未来・夢・希望」は、本市の将来を担う子ども達が、記念事業へ参加することを通じて特別な経験や貴重な思い出を作ることにより、自らの夢や将来に明るい望みを抱く機会とすることなどを目標としたものです。

国内初となる「WBSC U-15 ベースボールワールドカップ2016」の開催は、野球をはじめスポーツ活動を行う多くの子ども達にとって、大きな目標を抱く機会になったものと考えます。また、同大会の実施に合わせて展開した「1校1国・地域運動」は、参加した中学生にとって、応援する国・地域の学習や国際交流の経験となり、国際感覚の醸成や今後の人格形成に役立つものと考えます。

このほかスポーツ面では、新舞子体育施設や南部スタジアムのオープンに伴うイベントを開催し、ゲストアスリート等との触れ合う機会などを設け、また、芸術や文化に関する事業として「スマイルアートプロジェクト」や「アリオス・バレエシアター2016」を実施するなど、子ども達にとって貴重な経験となる場を提供しました。

また、本市の将来に目を向けた取り組みとして、「中学生議会」や「みらいを描くわかもの創生会議」を開催し、次代を担う中・高校生に市政に関心を深める機会を創出しました。

こうした取り組みのほかに、子ども達には、記念式典や各記念事業におけるイベントへの出演等、様々な場面において参加を頂きました。記念事業は、子ども達にとって特別な記憶・経験の場となり、未来への夢や希望がさらに広がったものと考えます。

## 魅力発信：本市の魅力や明るく元気な姿を国内外に向けて発信・アピールする。

「魅力発信」は、市制施行 50 周年を本市の魅力やイメージを高める重要な機会として捉え、活力に満ち溢れたまちを目指す本市の姿を広く発信し、交流人口の拡大等、シティセールスに繋げることを目標としたものです。

「市制施行 50 周年広報 P R 事業」として、のぼり旗や横断幕等を使った広報活動やノベルティグッズやガイドブックの配布、さらには地元企業と連携した企画などにより、50 周年の機運の醸成や記念事業の周知を図りました。

また、「J R いわき駅発車メロディーご当地化」に取り組み、本市への親しみや知名度の向上を図りました。

このほか、全国的なメディアの活用として、いわきを舞台とした「映画『超高速！参勤交代 リターンズ』の応援」を市を挙げて行い、いわきの歴史や魅力を広く発信しました。また、NHK の公開番組（民謡魂ふるさとの唄）を誘致し、番組を通じて 50 周年の周知や祝賀意識の高揚を図るとともに、本市の魅力や明るく元気な姿を対外的に広く P R しました。

なお、こうした取り組みのほか「いわきサンシャインマラソン」や「WBSC U-15 ベースボールワールドカップ 2016」などの大規模イベントにおいて、各種媒体等を活用した情報発信を実施しました。一連の取り組みにより、活気ある本市の姿が広く発信されたところであり、今後の各種施策の展開に繋がるものと考えます。

## 共創の取り組み

記念事業については、市民の皆様をはじめ、様々な方々と連携し、共に創る「共創」の視点を重視してきたところであり、事業の検討にあたって、市民や各種団体の皆様の企画アイデアを記念事業に反映させる「記念事業プレゼン大会」を開催し、優秀提案を、記念事業として実行することとしました。

また、「いわきサンシャイン博」をはじめ、「WBSC U-15 ベースボールワールドカップ 2016」や「いわきサンシャインマラソン」など、事業毎に委員会を立ち上げ、事業を企画・運営するなど、市民の皆様や地域、関係団体と行政が一体となった取り組みを進めて参りました。

このほか、「市制施行 50 周年連携（名称使用）事業」や「まち・未来創造支援事業（市制施行 50 周年記念事業）」など、市民の皆様が主体的に記念事業に参加していただける機会を設けるなど、市を挙げて市制施行 50 周年を祝うとともに、本市に関わる様々な主体が一つとなり、更なる 50 年に向け魅力あふれる「ふるさといわき」の実現を目指して歩み出す契機とすべく、記念事業を実施して参りました。

記念事業は、市民の皆様をはじめ、企業、学校、関係団体などの連携と協力により、実施することができました。この繋がりを礎に、更なる 50 年に向けて「共創のまちづくり」を一層推進して参ります。

## 2 市民等の企画アイデアの反映（記念事業プレゼン大会の開催）

市制施行 50 周年の機運醸成を図るとともに、市民の皆様の提案を記念事業に反映するため、「いわき市市制施行 50 周年記念事業プレゼン大会」を開催しました。

平成 26 年 12 月 24 日から平成 27 年 2 月 23 日まで、記念事業の企画アイデアを募集したところ、計 96 組の応募があり、一次審査を通過した 15 組の方々にプレゼンテーションを行っていただき、選考の結果、入賞した 7 組の企画アイデアを記念事業として実施しました。

■開催日 平成 27 年 5 月 16 日

■会場 いわき市文化センター 大ホール



### ■大会結果（入賞者）

賞の種類	提案者	企画アイデア
最優秀賞	いわき花火大会実行委員会	第 63 回いわき大花火大会
市長特別賞	公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会	「いわき市産業復興祭」の開催事業
優秀賞	有限会社アーキコンプレックス	いわきを繋ぐプロジェクション・マッピング
優秀賞	小名浜まちづくり市民会議	小名浜「胃・飾・縦」プロジェクト
優秀賞	平まちなか復興まちづくり計画推進プロジェクトチーム	磐城平城復元「一夜城」プロジェクト
優秀賞	福島県立湯本高等学校家庭クラブ	おどれ！いわきの traditional culture と共に！
優秀賞	宗田 雅裕	いわき駅の発車メロディーご当地化

### 3 いわきサンシャイン博

いわきサンシャイン博は、記念事業の中核として位置づけた事業であり、市全域を博覧会場に見立て、既存の観光資源やイベント等を有機的に組み合わせながら、楽しい「いわき」を提供・PRすることにより、観光交流人口の拡大を目指すとともに、市民の皆様にもいわきの魅力を再度発見していただく機会を提供することにより、観光振興の視点から本市のまちづくりを推進するものです。

「観る」、「学ぶ」、「交流する」をテーマに、1年を通して様々な取り組みを展開し、市制施行日の10月1日と2日にメインイベントとして開催した「いわき50祭～みんなでお101誕生日～」では、『いわき駅の発車メロディーご当地化』や『いわき街なかコンサート』、『磐城平城復元「一夜城」プロジェクト』、『いわきを繋ぐプロジェクション・マッピング』など、いわき駅周辺を舞台とした複合型イベントで、多くの市民の皆様と節目の日をお祝いしました。

#### 基幹イベント

##### オープニングイベント

- 開催日 平成28年4月10日
- 会場 21世紀の森公園・  
コミュニティーゾーン
- 参加人数 約20,000人
- 主な内容
  - 市内13地域の紹介・PRコーナーの設置
  - いわき物産展
  - つるの剛士さんをメインゲストとした多彩なステージイベント等



##### 首都圏オープニングイベント

- 開催日 平成28年4月21日
- 会場 JR新橋駅前SL広場
- 参加人数 約40,000人
- 主な内容
  - 湯本第一中学校と高輪台高校の生徒による合唱・吹奏楽の共演
  - いわき湯本温泉湯の華会によるフラの披露などのPRイベント
  - いわき物産展



## 夏季オープニングイベント

- 開催日 平成28年7月16日
- 会場 勿来海水浴場
- 参加人数 約800人
- 主な内容
  - 海開きと合わせたPR
  - 水風船を使ったいわき発祥のスポーツイベント「水風戦」の開催



## メイン(秋季)イベント

いわき50祭～みんなでおいも101誕生日～

- 開催日 平成28年10月1日・2日
- 会場 JRいわき駅前周辺
- 参加人数 約48,000人
- 主な内容
  - いわき駅の発車メロディーご当地化記念式典・記念プレート設置式
  - いわき街なかコンサート inTAIRA (～2日)
  - IWAKI Ohana Hula 2016
  - 八神純子さん、ジェイク・シマブクロさん、照屋実穂さんによるライブ
  - 磐城平城復元「一夜城」プロジェクト
    - ・一夜城ライトアップ
    - ・一夜城プロジェクト展等(2日)
  - いわきを繋ぐプロジェクション・マッピング



## クロージング（冬季）イベント

- 開催日 平成29年2月11日・12日
- 会場 いわきワシントンホテル椿山荘（11日）  
アクアマリンパーク（12日）
- 参加人数 約84,000人（マラソン関係者を含む）
- 主な内容  
サンシャインマラソンに合わせた市内13地域のPR

## 各種企画事業

サンシャイン博では、季節ごとの基幹イベントのほか、市内各地域の文化や歴史、地域資源など、いわきの魅力をより多くの方々にご覧いただくため、次のような取り組みを展開しました。

## 市内ツアー企画

### (1) アフターDCと連携した企画ツアー

- 開催日 平成28年4月～6月
- 開催数 6
- 参加人数 162人

※DC（デスティネーションキャンペーン）  
地元観光関係者と自治体が、JRグループをはじめ、全国の旅行会社などと連携して行う国内最大級の観光キャンペーン。福島では平成27年を本番として開催されました。



連携企画ツアー（いわきの春を巡る旅）

### (2) まち歩きプラン

- 開催日 平成28年4月～10月
- 開催数 4
- 参加人数 670人

### (3) サンシャイン博特別バスツアー

- 開催日 平成28年9月～平成29年3月
- 開催数 22
- 参加人数 926人



特別バスツアー（ハレテージューリズム）  
※産業遺産の学習と地域との交流旅行

### (4) レイラインハンティング

- 開催日 平成28年6月～平成29年3月
- 開催数 5
- 参加人数 166人

※市内の神秘的なスポットを巡るツアーなどを開催したものです。

### (5) その他の市内周遊プラン

- 開催日 平成28年5月～10月
- 開催数 7
- 参加人数 261人

## 講座・セミナー等の開催

### (1) 地域学総合講座

いわきをもう一度再発見していただくことを目的とし、地域学総合講座「いわきサンシャイン学」を前期・後期に分けて全13回実施しました。

■開催日 平成28年8月～平成29年1月

■参加人数 491人

■会場

- ・いわき市石炭・化石館「ほるる」
- ・いわき市生涯学習プラザ

■講座内容

開催日	内容
平成28年8月11日	じゃんがら念仏の歴史
9月3日	湯本の歴史～映画「超高速！参勤交代」に迫る～
9月10日	延喜式と磐城式内七社
9月24日	磐城平城「丹後沢の人柱」
10月22日	絶世の美女「久保姫」とその時代
11月5日	新島譲が見聞きした幕末の「いわき」
11月12日	いわきの近代文学史～山村暮鳥から草野心平まで～
12月3日	鉄道時代の到来といわき
12月10日	白水阿弥陀堂とその時代
12月17日	いわきの港と漁業の移り変わり
平成29年1月9日	【特別講演】沼ノ内の水祝儀
1月14日	いわきの石炭産業の父・片寄平蔵
1月28日	天冠埴輪と中田横穴の時代

### (2) 市内教育機関との連携による取り組み

#### ① 三和中学校ふるさと教育連携

「私たちの考える未来町 MIWA」をテーマに、中学生が自分達の育った地域の特徴を掘り下げ、今後どのように三和町と関わって生きるのかを考える授業を全5回実施しました。

#### ② 福島高専との連携による動態調査

「田人ほっこり祭」や「遠野もみじ祭り in 龍神峡」の各会場において、福島高専の学生がアンケート調査などによる来場者の動態調査を実施し、後日、調査結果の報告がなされました。

#### ③ 東日本国際大学との連携による「エジプト展」の開催

吉村作治学長の監修のもと、市制施行50周年とエジプト発掘50年を記念し、いわきサンシャイン博記念事業として、エジプトをテーマとした企画展を開催しました。

■開催日 平成28年12月17日～平成29年4月10日

■会場 いわき市石炭・化石館「ほるる」

(3) 人材育成セミナー

吉村作治氏講演会

(東日本国際大学学長)

- 開催日 平成28年6月15日
- 会場 東日本国際大学
- テーマ 日本のまつりとエジプトのまつり
- 参加人数 150人

野内セサル良郎氏講演会

(ペルー・マチュピチュ村初代村長与吉氏の孫)

- 開催日 平成29年3月12日
- 会場 いわきPIT
- テーマ ①フタバズキリュウを知っていますか？  
②世界遺産に村を創った日本人～マチュピチュの風を感じて～
- 参加人数 200人



(4) シェフズキッチン in いわき

いわきの食の魅力を引き出し、旅行先としてのブランド力向上を図ることを目的に、料理マスタートーズ倶楽部とのイベントを開催しました。

- 開催日 平成28年11月6日
- 会場 ワンダーファーム 森のキッチン
- 参加人数 325人



その他

(1) 貸切バス借上助成金交付事業

観光交流人口の増大とリピーター確保を図るため、旅行事業者が催行する受注型企画旅行又は募集型企画旅行（いわゆる団体旅行）における貸切バス借上費用の一部助成を行いました。

- ・助成限度額：1事業者あたり150万円
- ・助成額（貸切バス1台につき）  
10名～29名：日帰り20,000円、宿泊40,000円  
30名～：日帰り30,000円、宿泊50,000円

(2) 二次交通の支援

多くの誘客が見込まれる時期や各地域におけるイベントの開催時に、旅行者等の回遊性を高めるため、駅から臨時バスの運行を行いました。

(3) 周遊企画（いわきめぐりスタンプラリー）の開催  
市内を「まち」「さと」「やま」の3つのエリアに区分し、市内74箇所にスタンプを設置し、市内周遊企画を開催しました。

■開催時期 平成28年11月1日～平成29年1月31日

**四倉周遊・郷土シャトルバス**

◎電車30分圏内観光地間の特別運行  
◎どの日でもご利用いただけます  
◎無料・予約不要です  
◎定員 約5名(併乗制)  
◎お客様の乗り降りにはご注意ください

運行日 7/30日・31日  
8/6日・7日・11日(祝)  
13日・14日・15日(月)

往路(行き)	時刻	乗車料(円)
四倉駅	9:40 11:05 12:35	ワンダーファーム 11:43 13:00 14:58 15:50
四倉海水浴場	9:47 11:12 12:42	いわき市アンテナセンター 11:54 13:12 15:09 16:01
いわき市海風の丘センター	9:57 11:22 12:57	いわき市海風の丘センター 12:02 13:20 15:17 16:09
いわき市アンテナセンター	10:06 11:31 13:06	四倉海水浴場 12:18 13:31 15:28 16:20
ワンダーファーム	10:16 11:41 13:16	四倉駅 12:28 13:36 15:33 16:25

●車の乗りよつらら 11:00-12:00  
●アンテナセンター 11:00-12:00  
●ワンダーファーム 11:00-12:00

TEL 0246-22-7480 (9:00-17:00)

臨時バス運行案内表

情報発信

ビジターセンター、サテライトの設置

地域情報を集約・発信する拠点として、いわき市石炭・化石館ほるる内に「ビジターセンター」を、市内13地域の公共施設等に「サテライト」をそれぞれ設置しました。

広報宣伝

PRツールとして、地域ごとのポスターをはじめ、総合パンフレットやテーマ別リーフレット、のぼり旗などを作成しました。

また、都営地下鉄での中刷り・駅貼りポスター掲出や旅行雑誌・タウン情報誌への広告掲載など、幅広く事業の広報宣伝活動を展開しました。



テーマ別リーフレット



ポスター（総合）